

こんにちは。

私がオーストラリアのアデレードという都市で留学を始めて約1か月が経ちました。オーストラリアでの生活にもすこしずつ慣れてきて、今は5月から始まる現地校での生活に向けて準備を進めています。ホストファミリーとは、回転寿司に連れて行ってもらったりオーストラリアンフットボールを一緒に観戦したりビーチに行ってお散歩したりと良好な関係を築いています。今回は私がこの一か月で体験したこと、移動手段とイースターについて話したいと思います。

アデレードでの移動手段はバスが主流で、街のいたるところにバス停があります。バスも少し出かければ必ず目に入るほどたくさん走っています。私はアデレードシティ内での語学研修へはバスで通いましたし、来月から始まる現地校へもバスで通う予定です。私がアデレードでホームステイを始めて最初に気づいたのは、アデレードが車社会であることでした。ホストファミリーはどこへ行くときも必ず車で出かけます。仕事へ行くときも、買い物に行くときも、お出かけするときも車です。車がないと出来ることが極端に狭まる社会なのです。その分道路は整備が行き届いており、高速道路が一般道と一体化してとても身近なものになっています。日本では長距離を移動するときのみ高速道路を使いますが、アデレードでは市内を走るバスであっても頻りに高速道路に入ったり出たりしています。

アデレードでは、4月16日から18日までイースターというイエス・キリストの復活を祝うお祭りがありました。とはいえ宗教的側面はあまり強くなく、日本でのクリスマスやハロウィンのように他人との交流を深める機会として捉えられているように思います。グッドフライデーの16日とイースターマンデーの18日は語学研修がお休みになり、街全体がお祭りムードになっているのを感じました。驚いたのは、ホストファミリーがイースターを近所の人たちと一緒に祝っていたことです。イースターサンデーに両隣に住んでいる家族が家にやってきて、合計3人の男の子と家の敷地の中でエッグハントをしたりみんなでブランチを食べたりしました。ホストマザーは家に来た子供たちにそれぞれレゴや水着などのプレゼントを渡していました。私もホストマザーから洋服をプレゼントしていただきました。近所の人達が集まるのはイースターなどの特別な日だけではなく、二週間に一度くらいの頻度で一緒にワインを飲みながらおしゃべりするのだそうです。オーストラリアは近所の結びつきが強いというのが、私がイースターを機に気づいた日本との違いでした。

海外に行くのが初めての私にとって、見るもの聞くもの全てが新しく毎日新たな発見がありとても刺激的な日々を送っています。既にか月経ったことに時の流れの速さを感じますが、留学生活をより良いものにできるよう今後も有意義に過ごしていきたいと思いません。

白鷗高校 14 期生 次世代リーダー10 期 K・M